

第1回広島県総合計画審議会の主な意見

1 策定に向けた視点について

- 医療や介護，地域福祉を支える専門職を始め，急速に進展するデジタル技術に対応した人材の確保など，様々な分野における「人材育成」
- 産業や農業分野などの「生産性向上」につながる環境づくり
- グローバル化や家族形態の変化等に対応した「多様性を認め合う共生社会」の実現
- 広島の特徴や強みを活かし，世界を視野に入れた「広島らしさ」の発信
- 超高齢社会における，あらゆる世代の「活躍」
- 県民の「幸福」や「満足度」「豊かさ」が実感できる計画
- 政策分野を相互に関連させることにより相乗効果を図った取組の強化
- 将来の明るい展望を示した県民向けのキャッチフレーズ
- 短期的・中期的・長期的な視点による目標の設定

2 策定プロセスについて

- 県民の「共感」を得るため，若者を始めとした，県民の意見を聞く機会の確保